

吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. みどりのカーテン講座
4. 春を食べる
5. 都市公園は大木の産みの親
6. 散策会報告「片山・豊津」
7. 散策会報告「千里山・関大」
8. 環境教育バス・ツアー報告
「舞洲工場と南港野鳥園」
9. こんなイベントも
10. 行事案内 クワイネットワーク他
11. こんな活動も
12. 総会案内 編集後記 ほか

コラム

春夏秋冬

会長 小田忠文

すいた市民環境会議（以下、当会）はこの春、設立 10 周年を迎えました。当会は吹田の環境のことを考え、行動するために自分達のできることを楽しくやろう、行政とも一緒にやろう、企業（事業所）とも一緒にやろう、と立ち上げた会です。▲振り返ると随分いろいろなことをしてきました。自然環境調査をし、そのマップを作り、まちづくりの考えを取り入れたマップも作りました。そして昨年は市民共同発電所も作りました。これらは会員の皆さんや他団体、地域の方、事業所そして吹田市や大阪府の協力なくしてできるものではありませんでした。▲しかし更なるご協力をお願いしなくてはならない時代に入っています。先ごろの IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の発表では地球温暖化は人間の経済活動により発生する CO2 などの温暖化ガスによるものが大きな原因とされ、しかも温暖化は加速してきているとのこと。今まで、当会は「できる範囲で、無理をせずにエネ

ルギーの使用を削減しましょう」と呼びかけてきましたが、「それでは足りない」という状況に至っていると考えられます。▲当会の会員の方々には、今年は是非、家庭での省エネに取り組んでいただくことをお願いします。ご自分だけでなく、友人の方々や別に生活している家族の方々にもぜひ呼びかけていただきたく思います。「子どもや孫たちが安心して生活できる気候が維持できるように省エネしてみましよう」と。▲当会はこの夏、“アジェンダ 21 すいた”、“すいた環境学習協会”、“北大阪打ち水ネット”と協働で「みどりのカーテン」という事業に取り組むことになりました。この「みどりのカーテン」とは各家庭で、つる性の植物を窓際に茂らせることで外からの熱をすこしでも減らしてエアコンなどの使用を少なくしつつ、心地よい夏を過ごそうというものです。3 頁の記事と同封のチラシをごらんの上、ご参加ください。▲そして更に今後の当会のあり方に対する皆さんのご意見を頂きたいと思い、5 月中旬に総会のご案内とともに、アンケートをお送りしますのでご協力をお願いします。

<表紙の大木>

吹田の大木シリーズ（3）

吉志部神社参道のユーカリ

コアラの好きな木として誰でも知っている「ユーカリ」を紹介します。

このユーカリは吉志部神社参道の旧敬愛幼稚園前にあり、前回調査で幹周 312cm でしたが、今回 336cm（直径が 1 m）あり、10 年間で幹周りが 24cm 生長していました。

かつてユーカリに隣接していた 1895（明治 28）年当時の岸部尋常小学校の写真にこのユーカリが写っていますので、このユーカリは 110 年以上にわたって岸部の景色をみているのです。そう思うとこの木に愛着がわいてきます。

「みどりのカーテン」講 はじめます

地球温暖化とヒートアイランド現象によってますます暑くなる大阪。吹田市はヒートアイランド現象の優先対策地域に含まれています（注*）。少しでもその緩和に役立ちたいと、NPO法人すいた市民環境会議は「みどりのカーテン」の推進を提案しています。

「みどりのカーテン」とは、陽のあたる窓辺や壁につる性の植物をはわせて、光と熱をさえぎると同時に、緑の心理的効果で涼しさや気持ちよさを味わおうというもの。

奈良女子大の研究では、ブラインドに比べて室温が 1.3~4℃低下し、体感温度では2~3度低下したと感ずるそうです。心理的にもプラス効果があり、さわやかさ、安らぎを感じるという結果がでています。

アジェンダ21エネルギー部会や自然部会など他団体との協働で「講座」を開設します。

5月27日 10時~ 吹田市民会館 第4会議室

講師：寺西信昭さん(株)グリーンスタジオ造園部主任

ゴーヤの苗やフウセンカズラなどの種をさしあげる予定です。

ぜひ、ご参加ください。

(同封チラシをごらんください)

6月には公民館講座の予定もあります。

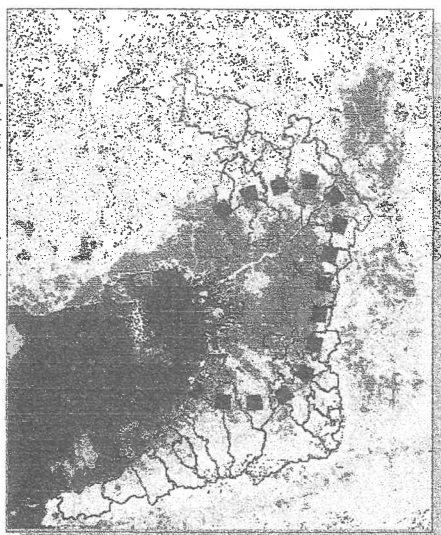
(問合せ先：喜田 TEL06-6330-0305 夜間のみ)

みなさんの窓辺にみどりのカーテンを！

マンションや二階のベランダでもできますよ。

市内にこんな窓辺や壁がたくさんできたら、いいな！

注* 優先対策地域とは=大阪府ヒートアイランド対策推進計画(H16年6月策定)における優先対策地域。H12年8月の人工衛星データから推定した地表面温度33℃以上(下図の点線部分)の地域で、吹田市も含まれています。



大阪府ホームページ「ヒートアイランド対策推進計画」より

同封しています。

エコプレス

吹田版 環境家計簿

「暮らしのCO₂ダイエット」

06年度取り組み

★「暮らしのCO₂ダイエット」効果ありました！

06年度の結果がまとまりました。昨年より電気使用量は2.3%・ガス使用量は5.6%、減っています！この取り組みで削減できたCO₂は水道も合わせて3931.9kg。スギのCO₂吸収量を年間14kgとすると、280本分に相当します！

★暮らしのCO₂ダイエットニュースレター「エコプレス」はこの取り組みの情報誌。今回から関大経済学部良永ゼミの学生が作ります。意欲あふれる記事をお楽しみください！

「春を食べる」に参加して

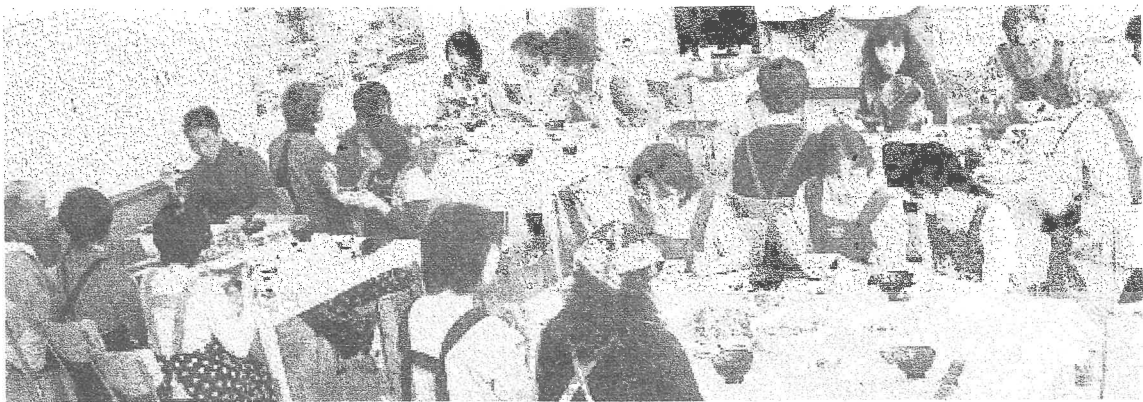
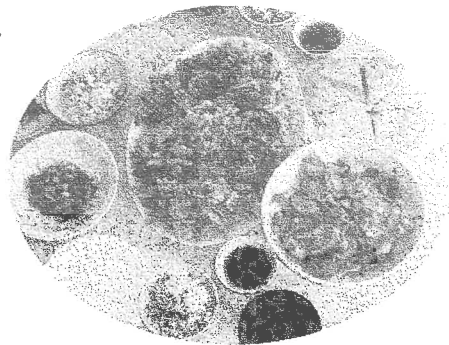
2007.3.25 山田西 安達 直樹

前夜来から降り続いていた雨も善男善女？の日頃の行いの良さ??もあってか、集合時間の9時頃にはほとんど止み、一行は北千里駅から水遠池に隣接する緑地へ向かいました。この時期はキンポウゲ科以外のものはほとんど食べられるとの平さんの説明はあったものの、やはり食べるとなると皆用心深くなってかお互いに「あれはどうだ、これはどうだ」と確認しあいながら一時間あまりの野草採集を終えました。

平さんが事前に準備下さっていたコオニタビラコ他数種と、採れたての野草合わせて約20種類を千里金蘭大学の調理室に持ち込み、参加者23名が4班に分かれて割り当てられた献立の調理に入りました。女性陣の手際の良さは流石だと横目で見ながら、負けてはならじと男性諸氏も獅子奮迅の大活躍、瞬く間に色とりどりのご馳走が出来上がりました。

参加出来なかった方々のために紹介しますと、10種類以上のてんぷら、五目寿司、菜飯、サラダ、ゴマ味噌和え、辛し和え、白和え、おすまし、パンケーキ等（忘れたものがあるかも知れません・・・）これらをテーブル一杯に広げ試食会が始まりました。盛りだくさんのてんぷらで口は滑らか、お箸の動きも活発であつという間に時間が経ってしまいました。胃腸の方は何時もと違う食べ物が次々と入ってくるため目を白黒させていたのかも知れませんが舌の方はまんざらでもない味を楽しんでいました。欲を言えばこれにビールが加わると舌の満足度がもう一段上がったことは間違いありません。

以前はタラノメ、フキノトウ等は別にして身近な野草を食べるとの意識は全くありませんでしたが、観て、触って更に食してと野草に親しむ貴重な機会となったことは言うまでもありません。文字通り「春を食べる会」の食感に浸りながら会場を後にしました。



食材とした野草・・・コオニタビラコ・ハハコグサ・セリ・ヨメナ・ノビル・ヒメオドリコソウ・フラサバソウ・ハリジオン・ヒメジョオン・ハコベ・ヨモギ・カラスノエンドウ・ホトケノザ・スイバ・ギシギシ・シロツメクサ・スギナ・ツクシ・カンサイタンポポなど

都市公園は大木の産みの親

生きもの委員会（山田西）平(ヒラ) 軍二

1. 都市公園では大木が大きく成長

吹田市内の大木調査を始めて4月12日まで12回、延べ125人の方のご協力を得て、242本の大木を確認しました。完了した調査区域での97年調査における大木は140本だったので、約100本増加したことになります。(下表参照)

大木が増えた場所は千里南公園・中の島公園・万博公園・千里緑地高野台・垂水神社など、都市公園やニュータウン周辺緑地が目立っています。

吹田市内の公園は昭和30年～40年代に整備された所が多く、当時大きな木が植えられたか、生長の早い樹種(メタセコイア・ユーカリ・クスノキなど)が、大木の基準ラインである幹周2mに到達しつつあることを示しています。

公園や緑地の広場などにまばらに独立して植えられた木が、太い木になっているもので、同じ公園・緑地でも多数の木が密植された林や、もとの里山状態が残った林には太い木は多くありません。林の中に細くて背の高い木が多いのは、木々の競合に勝つべく他の木より多く太陽の光を求めようと高く上に伸びることにエネルギーを使い、幹周を太くすることがお留守になっているためと推定されます。

この結果、樹林で幹周が2m以上の大木は少なく、同じ樹種・同じ幹周2mの大木でも、林の中にある大木の樹齢が高い、逆に樹齢が同じ場合、広場にある独立した木は太く大きく枝を広げ、林の木は細く高く伸びていると予想されます。

2. 旧市内、里山の木は低成長

旧市内の住宅地や神社・仏閣に残るのは前回調査した木が中心で、新規参入はあまり多く出ていません。周囲の開発で木が伐採される、落ち葉・日陰問題で枝が切られるなど、現状維持が精一杯厳しい状況にあるように思われます。



↑大の木 樹齢700余年のムクノキ
吹田殿跡のイチヨウ →

3. 今後の大木調査

大木調査は全市域をカバーすべく調査を続けており、詳細日程はすいた市民環境会議HPの「大木ブログ」にお知らせしています。

5月の主な調査日は下記の通りですので、調査へのご協力をお願いします。どなたでも参加できます。参加して樹木と親しくなりませんか。

5月5日(土祝)津雲公園及び津雲台

9:30 山田駅集合

5月16日(水)万博迎賓館及び万博外周道路沿

9:30 自然文化園中央口集合

その他に小グループでの調査を行います。詳細はHPでご確認ください。

(問合せ先: 平 軍二 TEL 06-6877-0648)

調査回	月日	曜	調査場所	参加者	調査班	調査木	内 大木	97年大木
1	2月25日	日	千里南公園周辺	27人	5班	64本	44本	27本
2	3月4日	日	泉殿神社～中の島公園	8人	1班	29本	27本	15本
3	3月11日	日	紫金山公園	10人	2班	18本	11本	12本
4	3月13日	火	高浜神社・浜屋敷	6人	1班	14本	14本	17本
5	3月14日	水	片山神社・アサヒビール	8人	1班	15本	11本	10本
6	3月17日	土	万博公園自然文化園①	12人	2班	36本	36本	7
7	3月22日	木	万博公園自然文化園②・日本庭園	12人	2班	27本	24本	23本
8	3月29日	火	万博公園自然文化園③	10人	2班	17本	16本	1
9	4月1日	日	玉林寺～片山町	6人	1班	8本	8本	5本
10	4月8日	日	千里緑地高野台・佐竹台(一部)	13人	2班	34本	24本	11本
11	4月11日	水	紫金山公園②・佐井寺伊射那岐神社	5人	1班	11本	8本	8本
12	4月12日	木	垂水神社	8人	1班	19本	19本	12本
合 計				125人		292本	242本	140本

第28回 「あろっく吹田」散策会 片山豊津コース メイシアター～泉殿宮～片山神社～大阪ハリストス正教会～阪急豊津駅

2007.3.10 まちなみ委員 井口しのぶ

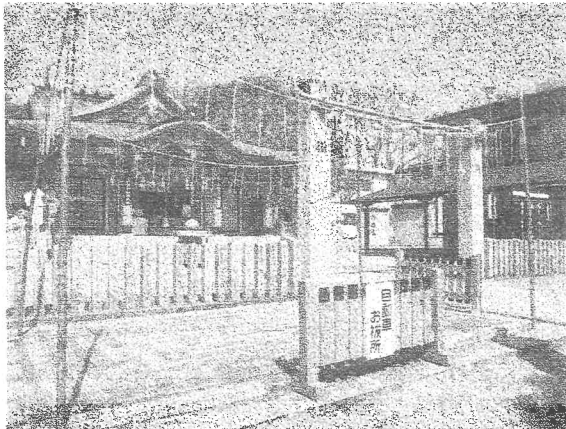
阪急吹田メイシアター前のいずみ公園からスタート。メイシアターがオープンしてすでに22年目にあたり、稼働率90パーセント以上の全国的にも優れた文化施設に成長していることを改めて確認した後、メイシアターのいずみ公園内にある鎌倉時代の「豊嶋群条里の東限水路跡」を見て、泉殿宮に向かいました。

泉殿宮でいただいた「ご案内のしおり」には、平成19丁亥（ひのと）年3月10日（土）参拝「あろっく吹田」散策会と印刷していただきました。泉殿霊泉は今、泉は湧き出てはいませんが、霊泉跡をみて、その歴史を偲びました。明治22年霊泉がビールの醸造に適しているということが証明されてアサヒビール建設のもとになったという逸話が残されています。

そのほか泉殿宮神楽獅子や、1837年の大塩平八郎の乱、万博の地鎮祭の斎主など泉殿宮には数々の歴史をきざんで、これからも静かにたたずんでいるのだらうと思いました。

参道前の大鳥居の石柱を使った7本のオブジェから西の庄町を経て、玉林寺～片山公園～片山神社までの丘陵地を歩きました。

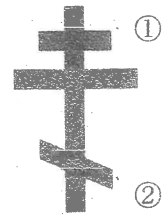
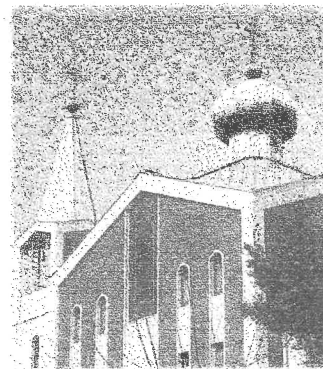
片山神社は昭和59年に「昭和大造営」で建てかえられたもので新築のようにきれいです。交通安全祈願のための「自動車お祓所」が設置されています。



片山公園から今日のハイライトとなる大阪ハリストス正教会を訪れました。下見で神父さんに教会内部を見学させていただくようお願いしていました。

大阪ハリストス正教会は東京のお茶の水のニコライ堂や函館のハリストス正教会と同じ宗派の教会で、伝統を重んじる正統派のキリスト教です。ギリシャからロシアなど東ヨーロッパに拡がり、日本にはロシアから伝えられました。ハリストスはキリストのギリシャ読みです。カトリックは約1200年前に分れています。

十字架は「ロシアン・クロス」とよばれていて、礼拝堂はクーポルというたまねぎ型の屋根と鐘楼をもっています。大阪天満橋に明治43年にあった教会は戦災で消失、吹田山手町に昭和37年再建されました。



ロシアンクロス

①罪状が書かれた札

②体を支えるための足台

教会内はイコン（聖像画）がたくさんあり、明治時代ロシアにわたったイコン画家山下りんさんの聖母子像をみることができました。最近テレビで紹介されて、すぐに実物を見ることができて、感動しました。

イコノスタス（イコンの壁）と呼ばれる教会の天井まで届く大きな数々の聖像画はすばらしいものです。この壁は1907年ロシアで制作され、日露戦争で捕虜にされたロシア人のために松山の聖堂で使用され、その後東京のニコライ聖堂にあったのを、吹田に移されたものです。櫛の木にはめられたイコンを移動のたびに解体したそうですが、きずもなく美しい状態で保たれています。

教会にはオルガンなどの楽器はなく、聖歌はアカペラで合唱されます。優れた聖歌隊があり、バザーのときなどに歌われます。10月末にはバザーが催されるそうで、また訪れるのを楽しみにしています。

第29回 「あしゅく吹田」散策会

千里山・関大コース

千里山駅～千里寺～第一噴水～千里山神社～千里山キリスト教会～千里山佐井寺図書館～

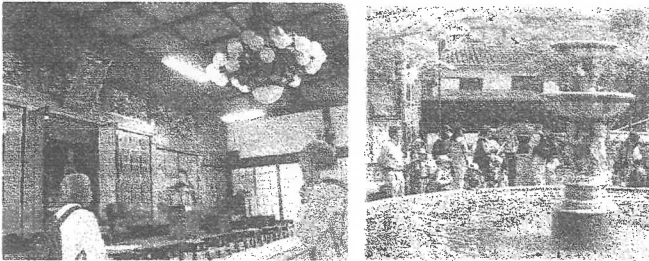
(関大)～簡文館～凜風館～関大正門～新関西大学会館南棟レストラン・チルコロ(昼食会)

2007.4.14 千里山西 中野 直衛

桜吹雪の中、散策会は「ちさと」の古きを訪ね新しきを見出す新たな企画で、千里山駅集合の一行16名は、松岡要三さん他の案内で出発。

コース最初の千里寺では本堂内陣に通され、二重折上格天井(ごうてんじょう)、35灯の華麗なシャンデリアなど関西大学から移築された昭和の大礼の饗宴場遺構で国登録有形文化財の貴重な和風宮殿建築に出会わせて頂きました。

続いて、街の「へそ」である第一噴水では「千里山開発記念碑」から英国のレッチワースを範とした先駆的なまちづくりの経緯を学びました。公園の台風倒木を活用した住民の手作りベンチや市との「みどりの協定」の通りを経て、千里山最高地点(71.8米)の配水場隣の千里山神社に到着。高台で千里山の地名と神社の由来を傾聴。



次に、住宅地開発者の創設に由来する自治会の千里山会館前を通り、地域の伝統的なカイズカイブキの生垣も眺めつつ、丘の上の千里山基督教会の木の温もりのある礼拝堂に導かれ、コンサートなど地域との関わりの深いコミュニティ・チャーチの働きを伺いました。

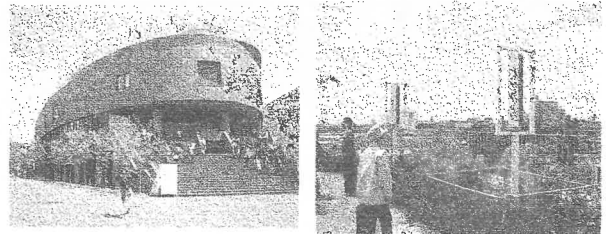
次に千里線の地下道をくぐると名残の桜並木に迎えられ、花見気分も高まり、今後の公団建替え時の桜の保存への願いにも話題が及びました。

公団を抜けると、昭和4年設立の千二小の木造校舎のイメージを再現し、新設した愛称「ちさと」図書館内の復元教室で、昔のいがぐり・おかつぱ頭を回想したことです。館内には地元在住の画家・村居正之さんの日本画も掲示されています。インターネットの閲覧も可能で、今後地域の文化情報交流の場としても期待されるところです。

ゴールは関西大学千里山キャンパスで、環境会議でも調査されたクスノキの大木前の「簡文館(かんばんかん)」内の年史資料展示室で120年の関大の歴史に想いを寄せました。

ちなみに大正10年前後、千里山住宅地・千里山線・千里山遊園・関西大学千里山学舎は、同時にこの千里山の桃畑に開花。千里山の恩人を一人あげるなら、学内に胸像もある山岡順太郎氏(大阪商工会議所会頭・住宅開発会社社長・関大大学長)であるとか。もって銘すべきかな。そして千里山開発はやがて「公団とニュータウン」さらに「万博」に通じるかと思えます。

締めくくりは環境がテーマで、学内最新の建物・凜風館(りんぷうかん 学生総合会館)を訪れ、新世紀のエコ・キャンパスを目指す、太陽光発電・風力発電、屋上緑化などを見学しました。



本日のコースはコンパクトでしかも地域の核心に迫る構成となっており、改めて千里山を見直す良い機会になったと思います。

初参加の者にも興味深く解説頂き、事前のご準備も万端整えられてあり、厚くお礼申し上げます。懇親昼食会も学内のレストラン・チルコロで和やかな一時をもたせて頂きました。

なだらかに家々みどりの連なりて

ちさとの街に歴史息づく



イオン(ジャスコ南千里店)・おいた市民環境会議共催

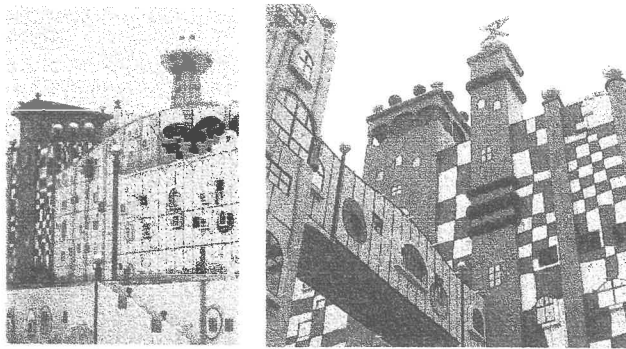
～環境学習バスツアーに参加して～

大阪市のごみ焼却場「舞洲工場」と「南港 野鳥園」

2007.4.7 五月が丘西 奥山 悦男

共催のツアーでしたが、イオン・チアーズクラブからの参加者の中に、吹田自然観察会が主催する「紫金山こども自然教室」に参加されている子供・親が多く、参加者のほとんどは私の知り合いという和やかなツアーでした。

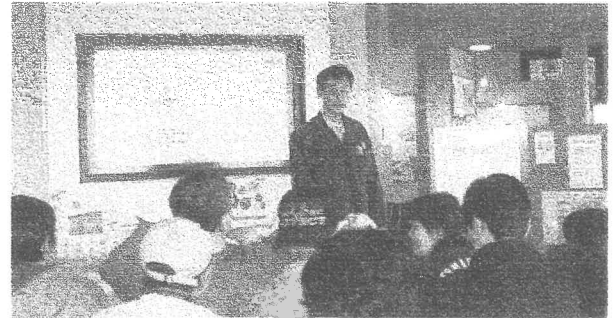
3年前に初めて舞洲(まいしま)へ行った時、サイケデリックというか、おとぎの城のような巨大な建物に気がきました。「ありゃ何だ!？」近くへ行くと、何とごみ焼却場であることを知り驚きました。機会があれば何時か中へ入ってみたいと思っていました。その夢がようやく実現しました。今回もバスの中からその建物を初めて見た多くの参加者から「オー」という驚きの声が上がりました。



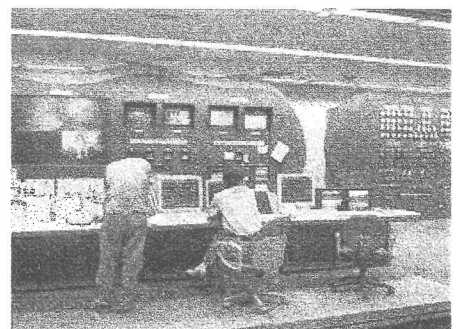
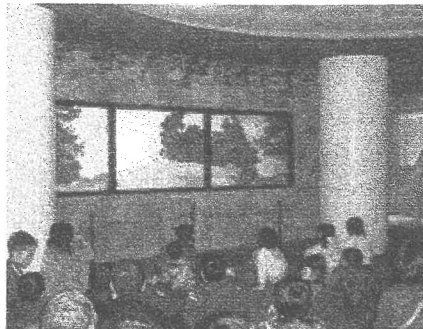
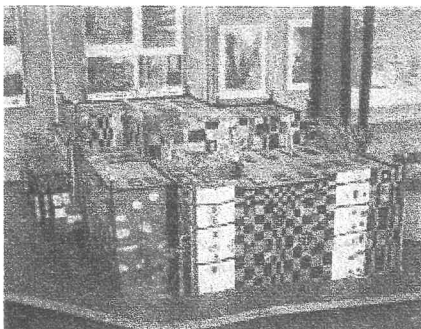
建物の中の見学用通路はテーマパークの感じで面白く、ごみを焼却炉に運ぶ装置の巨大な爪が一度に8トンのごみをつかむ様はジュラシックパークの再来かと思わせてくれました。展示されていたパネルで大阪には江戸時代から埋め立ての歴史があることを知りました。異次元空間に迷い込んだようで実に楽しい時間を過ごしました。大阪市はごみの分別収集に消極的と思っていたのですが、それなりに取り組んでいることも知りました。

南港野鳥園へ来たのは10年ぶり2回目。その時に購入した小さな野鳥図鑑は私のバイブルです。野鳥園の森の中で初めてトラフズクを見て感動したことを思い出しながら桜満開の広場で昼食を食べました。野鳥園の方の説明が実に楽しかった。野鳥園で海の生物の話を知るとは夢にも思いませんでしたが、海の生物が鳥のエサとなっているという関係を知り納得。チチュウカイミドリガメが船のバラスト水(積荷のない状態で船体を安定させるために重し代わりの海水)とともにイタリアから日本へ渡って来たという説明は目から鱗でした。シギがニュージーランドから日本経由でシベリアへ渡ることを初めて知り驚きました。双眼鏡で見る鳥の様子はいつ見ても面白い。

環境学習という側面のある見学会であったが、実に楽しい一日でした。どちらももう一度行って見たいところです。



海を渡って鳥もコンテナ船も行き交う南港



ゴミ焼却場が環境派画家フンデルト・バッサーのデザインにより、楽しい環境学習センターにもなっています。

～ こんなイベントもありました ～

*** ホームページ http://www3.big.or.jp/~sskk/ikieve_frame.htm にも掲載しています ***

「吹田から水辺環境を考える」シンポジウム / 07-03-21 古江台中学校



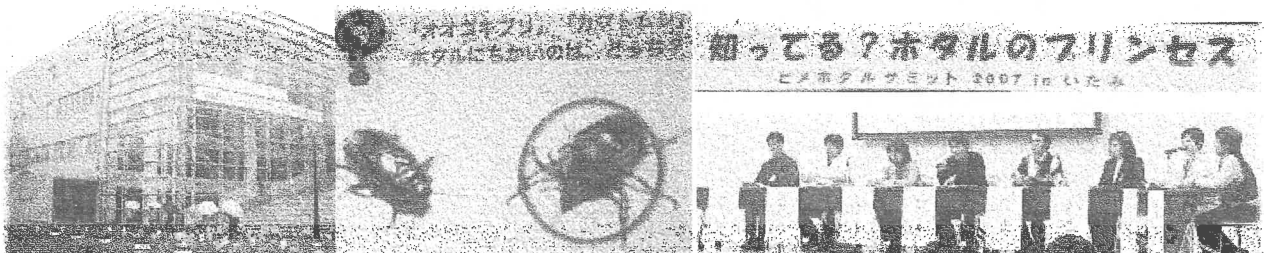
古江台中学校で大阪自然環境保全協会主催の「吹田から水辺環境を考える」シンポジウム～水辺環境を考える事例発表 ビオトープネットワークと学校ビオトープの活用～がありました。参加者全員が校庭に作られたビオトープとソーラー発電システムを見学したあと、シンポジウムが始まりました。すいた市民環境会議は古江台中学校PTAと「市民共同発電所」の報告をしました。（生活環境委員会・喜田）

すいた市民環境会議の事例報告 / 07-03-06 大阪駅前第3ビル



大阪駅前第3ビルで近畿地域におけるCSR活動「環境ステークホルダー・ミーティング」（主催：環境省近畿地方環境事務所）で、すいた市民環境会議の事例報告をしました。大阪駅前前でサクラが五分咲きでした。（生活環境委員会・小田信子）

第11回 ヒメボタルサミット / 07-03-24 スワンホール（伊丹市立労働福祉会・青少年センター）



伊丹市のスワンホールに240人が集まりました。第1部 クイズとトークショー「ホテルの王様とお姫様」ヒメボタルをめぐって子どもを対象にしたショーでした。第2部 パネルディスカッション「ヒメボタルの魅力を探る」各地でヒメボタルを観察している代表が語り合いました。（生きもの委員会・塩田）

吹田くわいネットワーク会議報告 保存と活用の話し合いが進んでいます

副会長 高島 耕一郎

吹田くわい連続講座を昨年11月から「知る」・「掘る」・「食べる」の3講座を開催し、毎回約50の方が参加しました。いずれも充実した講座でした。参加者からその後の保存や活用方法、さらにもっと吹田くわいのことを知るための学習などをしたいと言う声があり、「吹田くわいネットワーク」という名称の会議が開催されています。

1回目は今年の3月1日に18名の方が集まり、情報交換や吹田くわいを広げるために今後のことを話し合いました。この会の趣旨は吹田くわいの学習をしながら栽培場所の拡大や普及活動です。会則もないゆるやかなネットワークの会にしています。当面はすいた市民環境会議と吹田くわい保存会、すいた環境学習協会（SELF）のメンバーが中心になって参加しています。今までに2回の会議を持ちました。関心のある方はどなたでも参加できますので、気軽にお越し下さい。

第3回 吹田くわいネットワーク会議

【日時】 2007年5月24日(木) 19:00~21:00

【会場】 吹田市民会館 5F NPO室

【参加費】 300円(資料代など)

【内容】 1. 講演「吹田くわいの栽培方法や他のくわいとの違い」
講師：谷本 忠佳氏(大阪園芸高校教諭・くわい研究家)
2. くわいの保存について

【連絡先】 中村小夜子 (TEL 090-8375-0647 Eメール: k-kaigi@hotmail.co.jp)

千里南公園 文化探訪~ワクワク探検・人・もの・自然~

昨年、吹田市立博物館千里ニュータウン展の野外イベントとして開催した「千里南公園文化探訪」が大変好評でした。今年も吹田市、関係団体の協力で開催することになりました。

【日時】 5月19日(土) 小雨決行 参加費無料(希望者には探訪用冊子(A4/30頁)を300円で配布)

【受付】 9時30分から 公園南西入口(阪急南千里駅北徒歩5分) 事前申込は不要です。

【主催】 千里南公園文化探訪実行委員会 【後援】 吹田市教育委員会 【協力】 吹田市立博物館

【参加団体】 吹田くわい保存会 すいた市民環境会議 千里・津雲公園を守ろう会

吹田市拓本クラブ 高野台高齢クラブハイキング部 ゆめのみ公園プロジェクト

<午前の部：10時~12時>

・千里南公園：吹田くわい紹介・くわい苗配布 彫刻・文学碑紹介 大木調査紹介
樹名板取付け ものづくり教室 博物館・市役所出前展示

<午後の部：1時~3時> (昼食は各自でご準備下さい)

・千里南公園：公園お散歩 Myブックづくり 大木調査活動
・南千里庁舎：博物館講座 拓本指導・実習(博物館の古代瓦・銅鏡などのレプリカなどで拓本実習)

【連絡先】 彦坂利久 (TEL 06-6834-9168)

第30回「あろっく散策会」旧山田村コース ご案内

吹田市都市景観賞に選ばれた昔の雰囲気を残す古い屋敷が連なる山田地区を散策します。

【日時】 6月9日(土) 9時30分阪急山田駅バス停前集合 12時頃モノレール万博公園駅解散

【参加費】 会員 400円 非会員 500円 定員 25名 <<小雨決行>>

【申込】 6月6日(水) までに大越へ (TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697)

☆解散後、希望者はホテル阪急エキスポパークか万博公園で昼食会(計画中です)

◇◇◇ こんな活動も ◇◇◇

～設立以来、他団体・市民と協働・共創の活動をすすめています～

すいた市民環境会議は1997年3月15日に発足して10年になります。その間、他団体・市民と協働して活動し、いろいろの事業を共に創りあげてきました。すいた市民環境会議の設立も1996年の環境教育フェアがご縁で始まりました。当時の吹田市生活環境部長・伊藤昌一氏の提案で、環境教育フェアに参加した団体の主力メンバーが中心になって個人の資格で集まり、設立準備委員会を立ち上げ、すいた市民環境会議を設立しました。協働・共創のまちづくりを訴えた阪口善雄氏が市長に三選されましたが、すいた市民環境会議は設立以来10年、協働・共創を実践してきました。

昨年度に引き続き、大木調査やアジェンダ21など、他の環境団体や市民と幅広く協働して活動していきます。また本年は、吹田市がより文化的で住みよいまちとなるよう、下記活動にも多くの会員が個人の資格で参加し、他の市民と共に活動しています。

さらに多くの会員の参加を期待しています。

(まちなみ委員会 松岡要三)

吹田市立博物館 秋季特別展 『07EXP070～わたしと万博～』

『千里ニュータウンが博物館にやってきた』こんな見出しで昨年5月の「吹田の郷」で紹介した昨年の吹田市立博物館春季特別展「千里ニュータウン展」は、市民参画による新しい博物館の企画・運営のあり方を示すものとして全国からも注目を集め、大成功でした。

今年の秋季特別展は4月21日開催の第4回市民委員会で『07EXP070～わたしと万博～』と決まりました。万博は戦後日本を大きく変えた世紀の祭典でした。一地方都市吹田市に日本各地から、世界から6400万人が集まりました。期間中毎日、お祭りと交流の輪が広がっていました。市民一人一人にそれぞれの万博がありました。

現在、展示と催事のグループに別れて企画を検討中です。「進歩と調和 その後は」、「万博の時の夢、希望は どうなった」、「外国人と話したことのない人が外国人とどう付き合ったか」、議論が沸騰中です。

昨年は44名の市民委員の中で当会会員が12名でした。皆様も企画段階から市民

委員会に参加しませんか。次回5/8(火)19時より吹田市立博物館。

市民委員会のブログ参照下さい <http://www.doblog.com/weblog/myblog/60028>

(まちなみ委員会 岡村昇二 TEL 06-6871-5216)



東部拠点のまちづくり 市民フォーラム

吹田操車場跡地と岸辺駅周辺地区は、北摂地域の拠点地区となりうる唯一の貴重な地域です。30年先、50年先を考えてみませんか。市民が中心になって手作りのフォーラムを運営しています。万博会場跡地は公園と民博などのために残しました。東部拠点のまちづくりでは、次の世代に何を残すか良く研究して、考えてみませんか。大阪市や大阪府が過去に侵した過ちは絶対避けたいものです。次回5/30(水)19時よりメイシアター。

市報すいた参照下さい。

(まちなみ委員会 古谷啓伸 FAX 06-6387-2139)

6月5日は環境の日 6月は環境月間 吹田市では環境教育フェアが開催されます。

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念として定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めています。

わが国では、環境庁の主唱により、平成3年度から6月の1ヶ月間を「環境月間」とし、全国で様々な行事が行われています。世界各国でもこの日に環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため様々な行事が行われています。

◇◇◇ すいた環境教育フェア 2007「もったいない気持ちをもう一度」 ◇◇◇

6月16日(土)10時~16時 メイシアター

地球温暖化など、地球を取巻く環境が問題になっています。一人一人が地球規模で考え、地域から行動することが重要です。環境教育フェアで暮しを見直し、行動につなげましょう。

・内容：環境学習や環境保全活動の事例発表 パネル展示 省エネ実験や工作 環境配慮商品の展示 リサイクル品の展示 演劇やコンサート など

・主催：すいた環境教育フェア実行委員会 参加団体：企業、環境団体、小中学校など

すいた市民環境会議もパネル展示とソーラークッキング（太陽熱を利用して調理）で参加します。

第8回 通常総会 ご案内

【日時・場所】6月17日(日)午後2時から 市民会館

【懇親会】同上 午後5時30分 ボンズ(メイシアター南) 会費3000円程度

【問合せ先】事務局・中村小夜子 (TEL:090-8375-0647 FAX:06-6386-9491)

☆詳細は5月20日頃郵送します総会資料を参照下さい。

<編集後記>

- ◎ 環境学習バスツアーでのごみ焼却場見学は多くの参加者にある種の衝撃と感動を与えた企画だった。
- ◎ 「箱もの行政」が批判される中で、訪問して感動を与える建物もあるのである。
- ◎ 昨年 of 年末の紅白歌合戦で「千の風」が有名になったが、ごみ焼却場のデザインはフンデルトバッサー（日本名で百水）で、ウィーンのごみ焼却場改修も担当した。ウィーンを観光した人の話ではバスの中からごみ焼却場をガイドが紹介するという。
- ◎ フンデルトバッサーのことを調べてみると「人と自然」の理想に挑戦した芸術家で、「自然との平和条約」のために、私たちは努力しなければならないと説いている。今後、ページを頂いて紹介したいと思う。

<会報委員会より>

- ◎ 49号より下記メンバーで制作しています。

山本富雄・古谷啓伸・松岡要三

蓬田理恵子・佐藤和子・田中一子

- ◎ 取材・ワープロ打ち・編集・印刷・発送などの作業が

あります。お手伝いして頂ける方を求めています。(TEL 06-6387-2096 佐藤まで)

